



1 歳児期の親のQOL

菅原 ますみ

本章では、夫婦それぞれの生活の質への満足感（クオリティ・オブ・ライフ、QOL）を妊娠期、0歳児期、1歳児期の3時点（妊娠時、0歳時、1歳時）で比較し、妊娠中から出産後2年間の生活の変化についてQOLを通じて検討していく。また、先行する0歳児期での妻・夫それぞれの生活の良質さが、1歳児期での子どもとの愛着関係や子育てに対する意識とどのように関連するかを見ていく。

● 妊娠時、0歳時、1歳時のQOLの変化

本調査では、回答者の生活の良質さや健康さを評価する指標として、国際連合世界保健機関（WHO）が定義する「健康」（身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）の概念に沿って作成された、『WHO QOL26』を調査に取り入れている*。『WHO QOL26』は、26項目からなり、全般的な生活の質について問う2項目（全体評価、生活の質の自己評価・健康状態への満足感）と、身体的領域7項目（痛みや不快感のための制約感・治療（医療）の必要度・活力の程度・外出の程度・睡眠の満足感・活動をやり遂げる能力への満足感・仕事をする能力への満足感）、心理的領域6項目（生活の楽しさ・生活に対する有意味感・集中力・外見（容貌）への評価・自己満足感・抑うつ感）、社会的領域3項目（人間関係への満足感・友人サポートへの満足感・性生活への満足感）、環境領域8項目（安全性・生活環境の健康さ・経済的状态・情報供給度・余暇・近隣環境への満足感・医療施設や福祉サービスの利用しやすさ・周辺の交通への満足感）の4領域について問う項目に分かれている。回答者は、それぞれの項目について、5段階の選択肢からもっとも自分の状況に近いものを選ぶ。例えば、身体的領域に関する項目「睡眠は満足のいくものですか」について、「非常に満足」から「まったく不満」までの選択肢が用意されており、そこからもっともふさわしいもの1つを選ぶ。

図7-1は、妊娠時・0歳時・1歳時の3時点の妻・夫それぞれの4領域および全体評価とQOL指数（以下、QOL）の変化をみたものである。QOLは、26項目の回答結果を得点化して算出するものであり、図の数値は、妻・夫それぞれのQOLについて、各時期での平均値を出したものである。妻と夫を比較すると、妊娠時・0歳時では妻のほうが高い値を示していたが（妊娠時：妻3.51>夫3.47、0歳時：妻3.49>夫3.44）、1歳時には妻のQOL値が低下して夫と同値となっている（1歳時：妻3.44=夫3.44）。

領域ごとにみていくと、妻では0歳時から1歳時へと心理的領域、社会的領域、そして全体評価項目（生活の良質さに関する全般的な評価）で低下傾向が示されている（心理的領域：0歳時3.52→1歳時3.41、社会的領域：0歳時3.45→1歳時3.34、全体評価：0歳時3.49→1歳時3.43）。

* 『WHO QOL26』質問項目は、出版元、株式会社金子書房の許可を得て使用している。

図7-1 妊娠期・0歳児期・1歳児期のQOLの縦断的变化

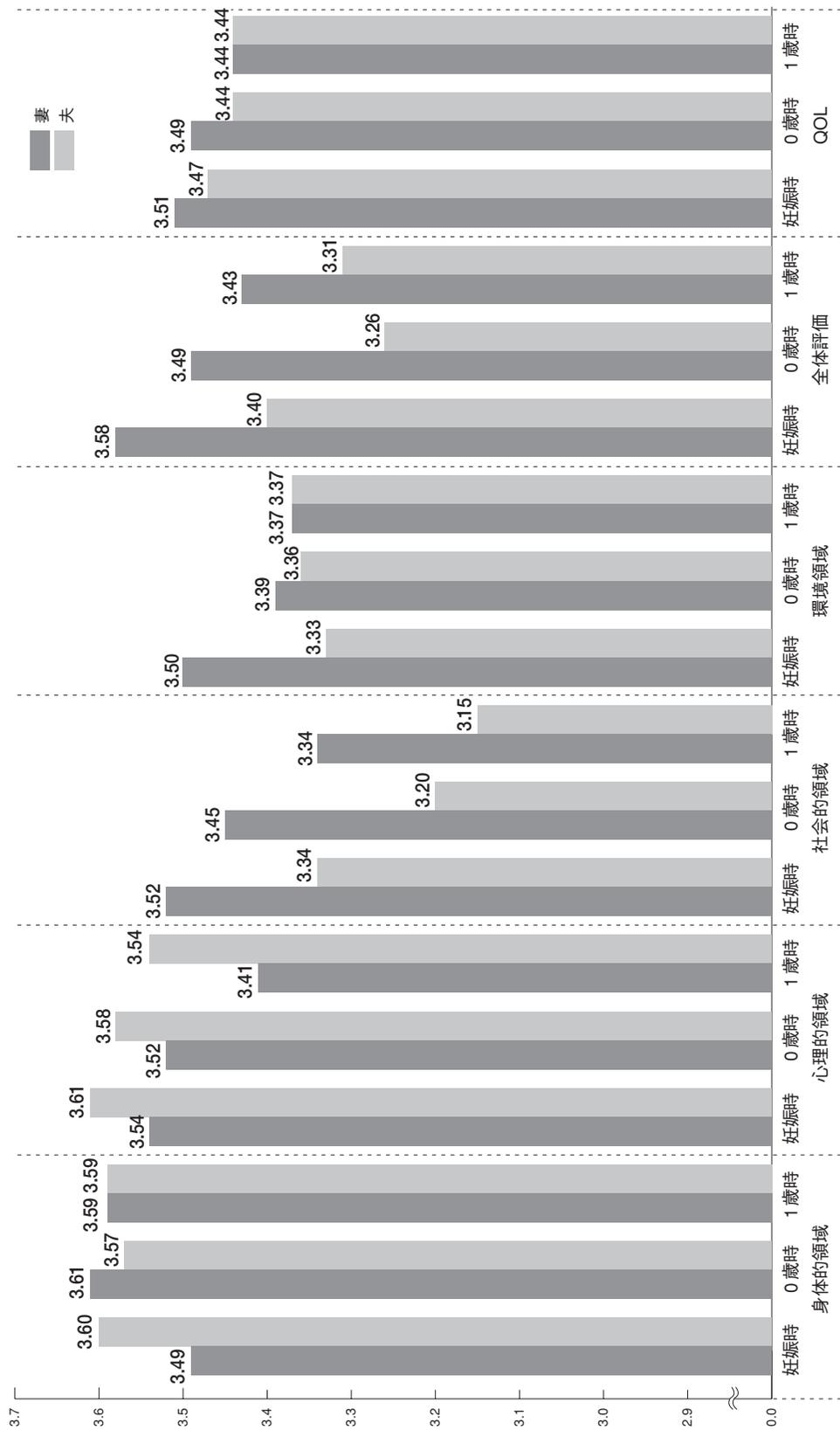


表7-1に項目ごとの平均値の変化を示したが、全体評価を構成する2項目（「自分の生活の質の評価」と「健康状態への満足度」）について、夫は0歳時より若干向上したのに対し、妻は2項目とも低下しており、特に健康状態に対する評価が妊娠時の3.55から0歳時の3.47、そして1歳時の3.37へと比較的大きな低下を示している。第2章でみたように、1歳児期は歩行開始と探索期に入って一段と子育ての負担が増す時期であり、長時間子どもの養育に責任を持つことの多い母親に疲労や不調がたまっていく時期とみることもできよう。

心理的領域と社会的領域では妻・夫ともに低下傾向が続いているが、一貫して心理的領域では妻のほうが夫より低得点であり、逆に社会的領域では夫のほうが低い得点を示している。妻の得点が低下している項目としては、自己満足感（「自分自身に満足していますか」）や自分の容貌に対する評価（「自分の容姿（外見）を受け入れることができますか」）といった自己評価に関するものであり、1歳時ではいずれの項目も夫よりも低い値となっている（表7-1）。子育て中心の生活の中で、生活全体としては有意義であると感じながらも、自分自身の活動やおしゃれなどを楽しむ余裕がない状況の中で自己に対する満足感が低下していつているのではないだろうか。また、社会的領域に関しても妻の人間関係に関する満足度は妊娠時の3.67から0歳時の3.52、さらに1歳時の3.33と低下が継続し、1歳時では夫と同程度まで低下している。わずかではあるが友人たちの支えでも妻の得点は低下しており、人間関係の面でも妻の状況は前年度よりも悪化している様子がうかがえる。一方、夫の社会的領域の値は平均3.15まで低下しており、人間関係面での不満足感を抱えた夫が少なからず存在するといえよう。

環境領域では0歳時と1歳時とは妻・夫とも大きな変化はみられなかったが、経済的状況に関する項目（「必要なものが買えるだけのお金を持っていますか」）では、妻・夫とも3年間を通じて少しずつ低下している。昨今の経済的不況の影響を反映する動きであると考えられよう。

● 0歳時のQOLと1歳児期の子どもとの愛着関係

QOL値は妻・夫の生活の総合的な良質さを表す指標であるが、本調査では、こうした親のQOLは子育てを余裕ある豊かなものにできるかどうかの土台をなすものであると考え、親子関係の形成にも影響を及ぼすものと予想している（「第1回妊娠出産子育て基本調査」Benesse次世代育成研究所、2006を参照）。0歳時のQOL値は1歳時の親子の関係性形成や親の子育てに対する意識とどのような関連をみせるのだろうか。以降では、妻と夫それぞれの0歳時のQOL値と1年後の母子・父子の愛着関係および親の子育てに対する肯定感との関連についてみていく。

生まれたばかりの子どもにとって人生最初の1年間の発達の課題は、授乳やおむつ替えなど1日の中で幾度も繰り返される養育者との人間的コミュニケーションの中で、養育者に対する愛着（アタッチメント、特定他者に対して愛情と信頼の絆を形成すること）を形成していくことにある。良好な養育環境の中であれば、0歳後半には見知らぬ人と特定の養育者に対する反応が明らかに分化し、見知らぬ他者に対しては人見知りなどの恐れを表出するようになるのに対し、おなじみの養育者に対しては特別な親密感情の表出や後追いなどの愛着を示す行動が顕著にみられるようになってくる。本調査では、こうした乳児期特有の特定の養育者に対する子どもの愛着行動について、妻と夫それぞれに自分との関係性がどのようなものであるかを図7-2、図7-3のような10項目で尋ねている。

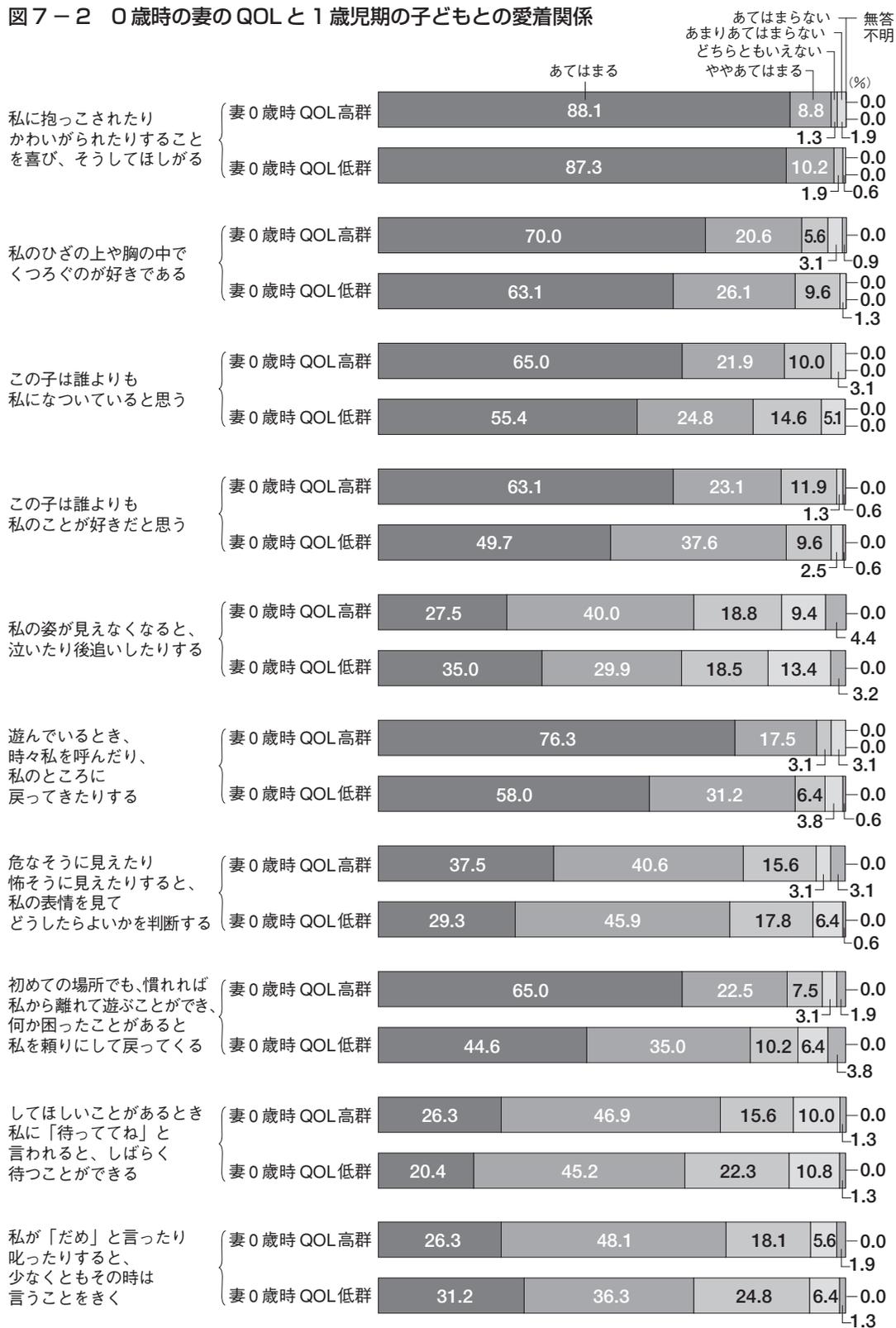
表 7-1 QOL26 項目平均値の縦断的变化

項目名		妻		夫	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
QOL 1：自分の生活の質をどのように評価しますか	妊娠時	3.61	0.76	3.44	0.78
	0歳時	3.51	0.77	3.33	0.81
	1歳時	3.50	0.73	3.36	0.81
QOL 2：自分の健康状態に満足していますか	妊娠時	3.55	0.96	3.35	0.92
	0歳時	3.47	0.94	3.18	0.93
	1歳時	3.37	1.00	3.26	0.92
QOL 3：体の痛みや不快感のせいで、しなければならぬことがどのくらい制限されていますか	妊娠時	2.69	1.06	1.71	0.96
	0歳時	1.76	0.90	1.61	0.87
	1歳時	1.97	1.04	1.70	0.92
QOL 4：毎日の生活の中で治療（医療）がどのくらい必要ですか	妊娠時	1.93	1.04	1.56	0.76
	0歳時	1.55	0.80	1.49	0.76
	1歳時	1.62	0.89	1.52	0.82
QOL 5：毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	妊娠時	3.59	0.84	3.61	0.83
	0歳時	3.73	0.80	3.56	0.78
	1歳時	3.62	0.77	3.36	0.81
QOL 6：毎日の生活をどのくらい意味あるものと感じていますか	妊娠時	3.71	0.88	3.75	0.88
	0歳時	3.96	0.87	3.72	0.88
	1歳時	3.79	0.88	3.69	0.87
QOL 7：物事にどのくらい集中することができますか	妊娠時	3.34	0.86	3.55	0.86
	0歳時	3.17	0.82	3.44	0.85
	1歳時	3.10	0.84	3.45	0.87
QOL 8：毎日の生活はどのくらい安全ですか	妊娠時	3.91	0.78	3.76	0.90
	0歳時	3.97	0.76	3.86	0.83
	1歳時	3.98	0.76	3.89	0.88
QOL 9：あなたの生活環境はどのくらい健康的ですか	妊娠時	3.64	0.86	3.46	1.00
	0歳時	3.73	0.89	3.44	0.94
	1歳時	3.75	0.88	3.44	0.99
QOL10：毎日の生活を送るための活力はありますか	妊娠時	3.77	0.81	3.77	0.89
	0歳時	3.73	0.84	3.74	0.84
	1歳時	3.67	0.84	3.66	0.87
QOL11：自分の容姿（外見）を受け入れることができますか	妊娠時	3.65	0.91	3.60	0.94
	0歳時	3.31	0.93	3.57	0.92
	1歳時	3.24	0.94	3.49	1.00
QOL12：必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	妊娠時	3.30	0.95	3.06	0.94
	0歳時	3.18	0.93	3.01	0.91
	1歳時	3.07	0.89	2.95	0.96
QOL13：毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることができますか	妊娠時	3.70	0.77	3.55	0.84
	0歳時	3.53	0.85	3.52	0.83
	1歳時	3.55	0.82	3.56	0.85

※次ページにつづく。

項目名		妻		夫	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
QOL14：余暇を楽しむ機会はどのくらい ありますか	妊娠時	3.56	1.03	3.02	0.94
	0歳時	2.62	0.95	2.90	0.93
	1歳時	2.66	0.93	2.88	0.98
QOL15：家の周囲を出まわることがよく ありますか	妊娠時	3.52	1.11	3.30	1.06
	0歳時	3.83	1.04	3.20	1.08
	1歳時	3.81	1.04	3.25	1.02
QOL16：睡眠は満足のいくものですか	妊娠時	3.40	1.10	2.97	1.12
	0歳時	2.72	1.05	2.80	0.99
	1歳時	3.01	1.05	2.92	1.07
QOL17：毎日の活動をやり遂げる能力に 満足していますか	妊娠時	3.25	0.89	3.28	0.92
	0歳時	3.20	0.90	3.21	0.88
	1歳時	3.21	0.92	3.29	0.87
QOL18：自分の仕事をする能力に 満足していますか	妊娠時	3.11	0.96	3.14	0.98
	0歳時	3.08	0.91	3.17	0.97
	1歳時	3.01	0.96	3.24	0.95
QOL19：自分自身に満足していますか	妊娠時	3.45	0.89	3.28	0.97
	0歳時	3.24	0.93	3.25	0.91
	1歳時	3.12	0.96	3.26	0.94
QOL20：人間関係に満足していますか	妊娠時	3.67	0.79	3.43	0.87
	0歳時	3.52	0.85	3.43	0.82
	1歳時	3.33	0.88	3.26	0.87
QOL21：性生活に満足していますか	妊娠時	3.07	0.75	3.06	0.84
	0歳時	3.05	0.72	2.83	0.85
	1歳時	3.04	0.81	2.82	0.86
QOL22：友人たちの支えに満足していますか	妊娠時	3.84	0.73	3.53	0.74
	0歳時	3.77	0.74	3.36	0.75
	1歳時	3.66	0.72	3.35	0.74
QOL23：家と家のまわりの環境に 満足していますか	妊娠時	3.51	1.00	3.49	0.92
	0歳時	3.53	1.03	3.50	0.87
	1歳時	3.51	0.96	3.52	0.83
QOL24：医療施設や福祉サービスの 利用しやすさに満足していますか	妊娠時	3.07	0.87	2.98	0.90
	0歳時	3.16	1.01	3.20	0.83
	1歳時	3.11	1.00	3.23	0.87
QOL25：周辺の交通の便に満足していますか	妊娠時	3.32	1.11	3.31	1.07
	0歳時	3.38	1.09	3.44	1.01
	1歳時	3.33	1.09	3.50	0.99
QOL26：気分がすぐれなかったり、絶望、不安、 落ち込みといったいやな気分を どのくらいひんぱんに感じますか	妊娠時	2.47	1.01	2.13	0.98
	0歳時	2.28	0.98	2.08	0.95
	1歳時	2.37	1.08	2.05	0.97

図7-2 0歳時の妻のQOLと1歳児期の子どもとの愛着関係



注) 妻0歳時QOL高群 (160人) = 妻0歳時のQOL平均値以上の人。
妻0歳時QOL低群 (157人) = 妻0歳時のQOL平均値未満の人。

1歳時調査で測定を行ったこれらの10項目について、妻・夫それぞれに0歳時のQOLの平均値未満の得点群を“0歳時QOL低群”、平均値以上を“0歳時QOL高群”としてクロス集計分析を行った（図7-2、図7-3）。

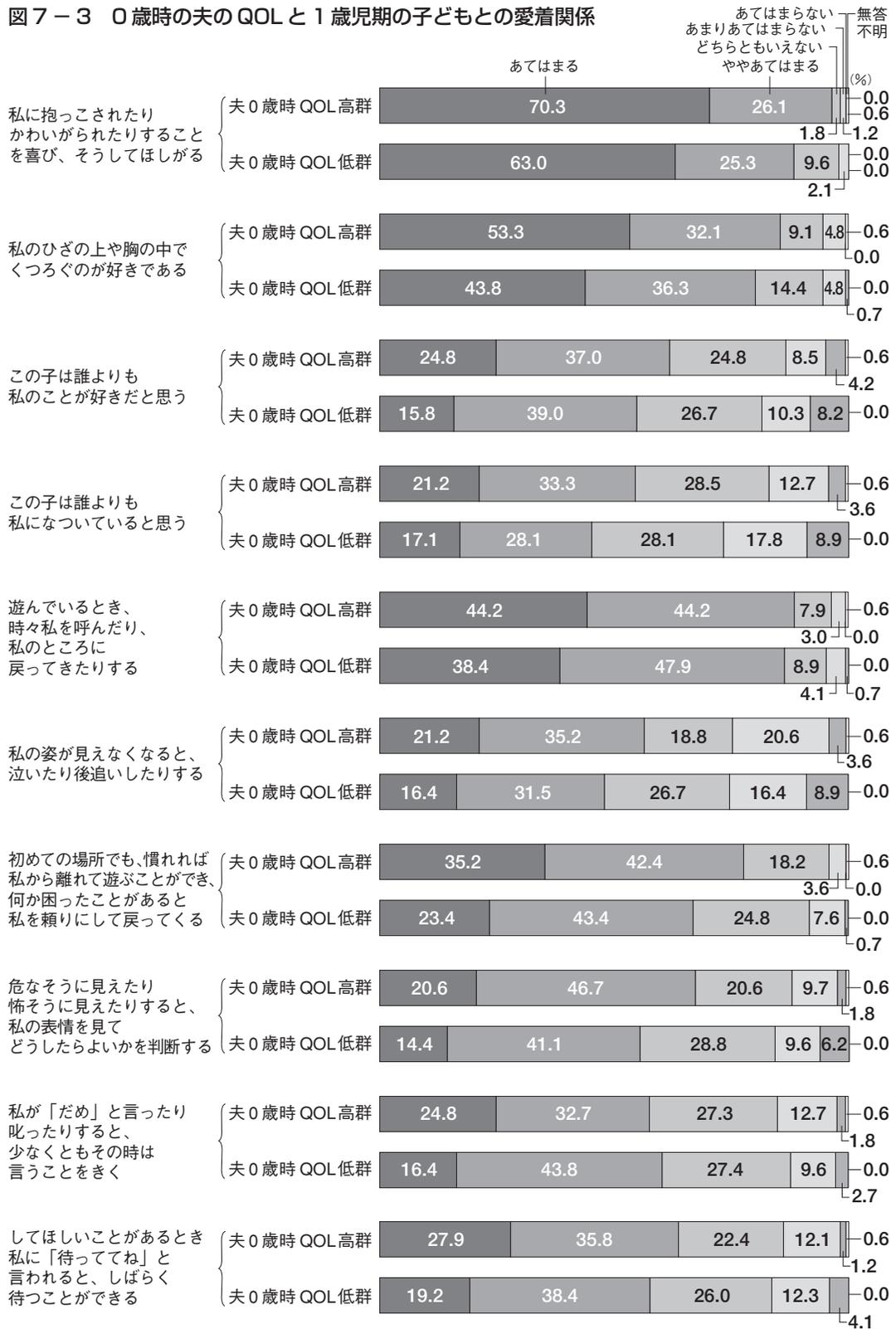
妻の結果についてみると（図7-2）、「私に抱っこされたりかわいがられたりすることを喜び、そうしてほしい」「私の姿が見えなくなると、泣いたり後追いしたりする」の2項目では低群と高群で差がほとんどみられないが、そのほかの項目では「あてはまる」あるいは「ややあてはまる」とする妻が0歳時QOL高群に多い傾向にあることがわかる。0歳時点での妻の生活の良質さが1歳時点でのより確かな母子の愛着関係の形成と関連していることが推測されよう。図7-3から、夫についても同様な傾向がうかがわれ、いずれの項目でも0歳時点でのQOL高群のほうが低群よりも高めの得点となっている。全般的な夫の生活の良質さがスタート期での父子の関係性形成に有利な状況を提供している可能性がうかがわれる。

0歳時のQOLと1歳児期の子育てに関する意識

図7-4、図7-5はそれぞれ0歳時のQOLと1歳児期の子育てに関する意識との関連をみたものである。6項目の内訳は、否定感に関する2項目（「子どもがうまく育っているか不安になる」「子育てのためにいつでも時間に追われていて苦しい」と肯定感に関する4項目（「子どもを育てることに充実感を味わっている」「子育てに自信が持てるようになった」「子育てが楽しいと心から思う」「親としてそれなりにうまくやれていると思う」）である。

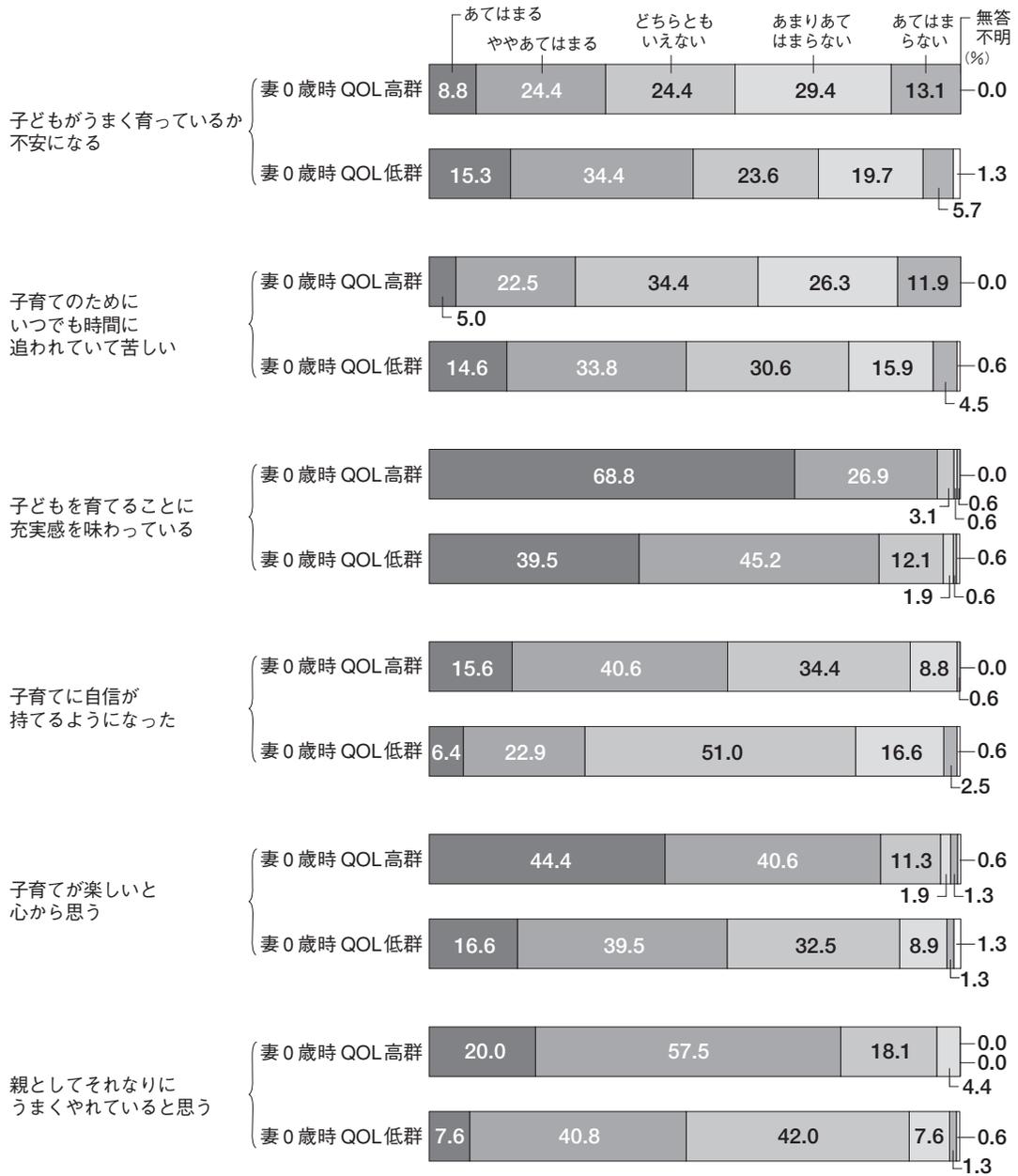
妻・夫ともにQOL高群のほうが低群に比べて肯定的な意識がより強く、否定的な意識が低めであることがわかった。こうした子育てに対する意識には、親自身の子育てに関するスキルや体験、子ども自身の行動特徴など多様な要因が影響を与えていると予想されるが、QOL値に反映される養育者の生活の様々な領域（身体的領域、心理的領域、社会的領域、環境領域）における良質さも影響することがうかがわれる。できるところから少しずつ養育者自身の生活を改善していくこともまた、子育てで忙しい0歳児期から1歳児期にも重要なことであると考えられよう。

図7-3 0歳時の夫のQOLと1歳児期の子どもとの愛着関係



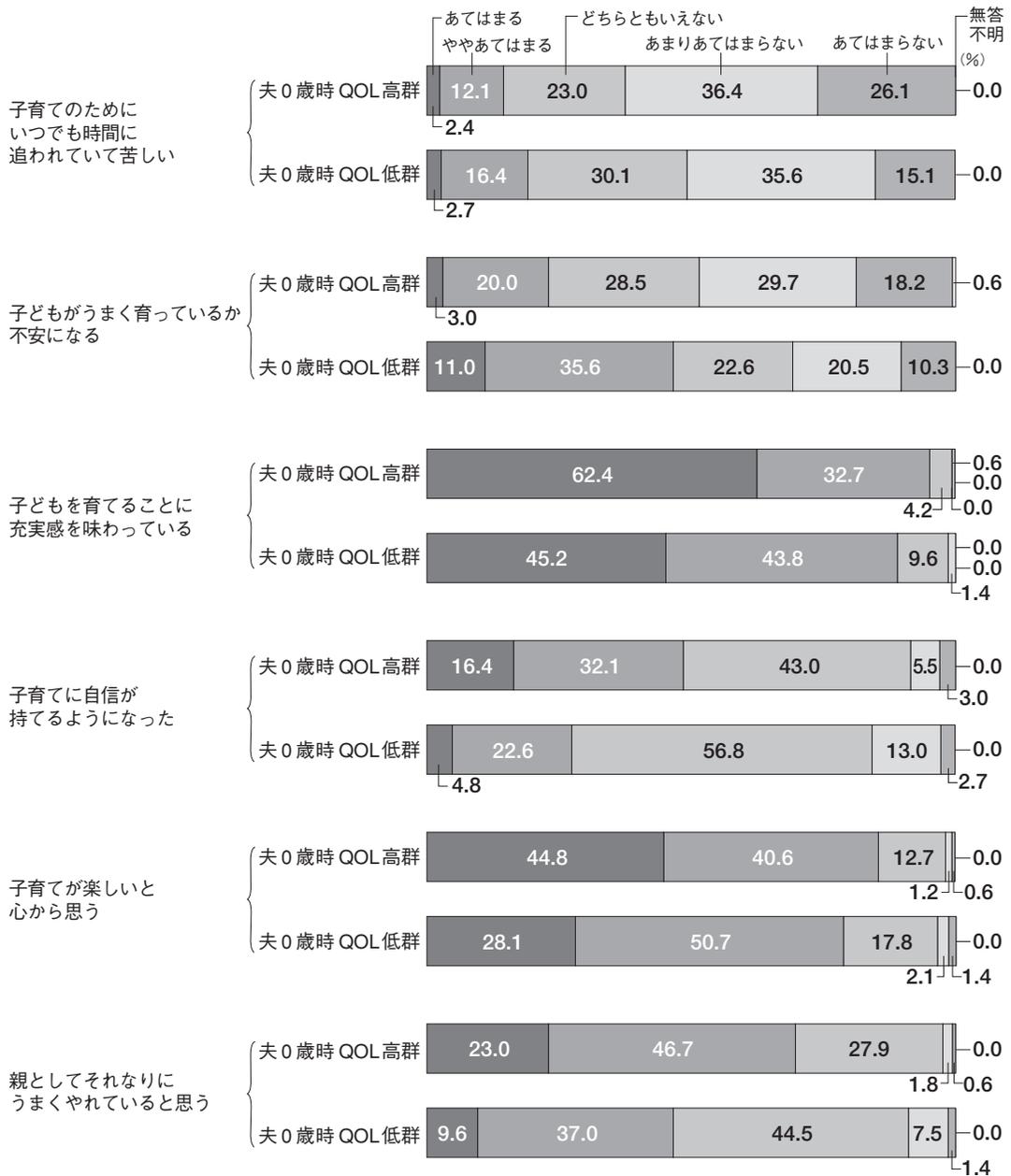
注) 夫0歳時QOL高群 (165人) = 夫0歳時のQOL平均値以上の人。
夫0歳時QOL低群 (146人) = 夫0歳時のQOL平均値未満の人。

図 7-4 0歳時の妻のQOLと1歳児期の子育てに対する意識



注) 妻0歳時QOL高群 (160人) = 妻0歳時のQOL平均値以上の人。
 妻0歳時QOL低群 (157人) = 妻0歳時のQOL平均値未満の人。

図 7-5 0歳時の夫のQOLと1歳児期の子育てに対する意識



注) 夫0歳時QOL高群 (165人) = 夫0歳時のQOL平均値以上の人。
夫0歳時QOL低群 (146人) = 夫0歳時のQOL平均値未満の人。